

アートはだれのもの？

死刑囚、老人、障がい者、ヤンキー、といったいわゆるアートの外側に位置付けられてきた存在に目を向け、これまでの「アウトサイダー・アート」とは全く異なる視点から紹介し続ける櫛野展正氏を広島からお招きします。

また、アートシーンで活躍する太田エマ、奥平聡、花房太一各氏による応答から、アートはだれによる、だれのためのものなのか、「政治とアート」の視点から議論を深めます。

基調講演

櫛野展正氏



日本唯一のアウトサイダー・キュレーター。2000年より知的障害者福祉施設職員として働きながら、広島県福山市瀬の浦にある「瀬の津ミュージアム」でキュレーターを担当。2016年4月よりアウトサイダーアート専門ギャラリー「クシノテラス」オープンのため独立。社会の周縁で表現を行う人たちに焦点を当て、全国各地の取材を続けている。

コメンテーター

武居利史氏（府中市美術館学芸員）

松下慶太准教授（実践女子大学人間社会学科）

パネリスト ※50音順



太田エマ氏
（キュレーター、あなたの公-差-転）



奥平聡氏
（現在美術家）



花房太一氏
（美術批評家、キュレーター）

モデレーター

宮原一郎（実践女子学園アート・コミュニケーション研究所、実践女子大学人間社会学部助手）

日時：2017年 **1月27日（金）** 18:10~20:30

会場：実践女子大学創立120周年記念館（6階 603教室）
東京都渋谷区東1-1-49

交通アクセス：渋谷駅 東口（東急南口）徒歩10分
表参道駅 B1出口より 徒歩12分

お問い合わせ：miyahara-ichiro@jissen.ac.jp

主催：実践女子学園アート・コミュニケーション研究所

入場無料・事前申し込み不要

